

公募の概要

別紙 1

プログラム名	対象とする研究開発課題	研究開発経費※ (年度当たりの上限額)	研究開発期間	備考
若手ICT研究者等 育成型研究開発	ICT分野の研究者として次世代を担う若手人材を育成することや中小企業の斬新な技術を発掘するために、若手研究者又は中小企業の研究者が提案する研究開発課題。	【若手研究者枠】 フェーズⅠ： 300万円 フェーズⅡ： 1,000万円	フェーズⅠ：1か年度 フェーズⅡ：最長2か年度	若手研究者(39歳以下等)
		【中小企業枠】 フェーズⅠ： 300万円		中小企業研究者 フェーズⅠのみ
電波有効利用促進型研究開発	(先進的電波有効利用型) 電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究開発課題。	フェーズⅠ： 500万円 フェーズⅡ： 3,000万円		フェーズⅡへの提案も募集
	(若手ワイヤレス研究者等育成型) 若手研究者又は中小企業の研究者が提案する電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究開発課題。	フェーズⅠ： 300万円 フェーズⅡ： 1,000万円		
地域ICT振興型研究開発	地域に密着した大学や地域の中小・中堅企業等が実施する、地域固有の社会的・経済的課題の解決や地域社会・経済活動の活性化に寄与する研究開発課題。	フェーズⅠ： 300万円 フェーズⅡ： 1,000万円		

※別途間接経費(直接経費の30%を上限)を配分。

採択評価の主なポイント

<p>若手ICT研究者等育成型 研究開発</p>	<p>(若手研究者枠)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 若手研究者の育成の観点で評価できる研究開発か。 • ビッグデータ分析の専門家(データサイエンティスト)の育成の可能性(加点評価) <ul style="list-style-type: none"> ○ビッグデータの利活用のための研究開発か。 ○データサイエンティスト育成への貢献が認められるか。 <p>(中小企業枠)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 中小企業の斬新な技術の発掘の観点で評価できる研究開発か。 • ビッグデータ分析の専門家(データサイエンティスト)の育成の可能性(加点評価) <ul style="list-style-type: none"> ○ビッグデータの利活用のための研究開発か。 ○データサイエンティスト育成への貢献が認められるか。
<p>電波有効利用促進型 研究開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 新しい電波利用の実現に向けた研究開発か。 • 以下のいずれかの技術であって、おおむね5年以内に開発される技術として到達目標が明確に設定されているか。 <ul style="list-style-type: none"> ○周波数を効率的に利用するための技術 ○周波数の共同利用を促進するための技術 ○高い周波数への移行を促進するための技術
<p>地域ICT振興型研究開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 以下のいずれかの観点で評価できる研究開発か。 <ul style="list-style-type: none"> ○当該地域固有の社会的・経済的課題に対し、情報通信技術の面から解決できる課題であるか。 ○研究成果を活用して地場産業の振興、新規事業の創出、地域住民の生活向上等、地域社会・経済活動の活性化に寄与できる課題であるか。

詳細は提案要領及び評価の手引きをご参照ください。

平成28年度に向けた見直しのポイント

1. 「新たな情報通信技術戦略の在り方」中間答申を踏まえた評価項目の一部見直し

「新たな情報通信技術戦略の在り方＜平成26年諮問第22号＞中間答申」（平成27年7月28日情報通信審議会）※1で「重点研究開発分野」等が示されたことを踏まえ、採択時の専門評価項目を見直し。具体的には、従前の「研究開発戦略マップ」に対応した「分類別評価」を削除し、「目標、計画の妥当性」を追加。【若手ICT研究者等育成型、電波有効利用促進型及び地域ICT振興型】

※1 http://www.soumu.go.jp/main_content/000370622.pdf

2. 若手ICT研究者等育成型研究開発の一部見直し

中小企業の斬新な技術を積極的に発掘するため、若手ICT研究者とは区分した採択枠を設定。提案する技術の実現可能性等の検討の機会を提供。

【中小企業枠】

対象：中小企業

期間：1か年度（フェーズⅠのみ）

費用：3百万円（直接経費上限額。別途、間接経費30%）